

黒潮生物研究財団 平成20年度業績
(ゴシック体は財団職員)



(1) 著作

○黒潮生物研究財団紀要「Kuroshio Biosphere」 Vol. 5, March 2009

- ・ KESHAVMURTHY Shashank, FUKAMI Kimio, REIMER James Davis. Effect of ciliates on the branching coral *Acropora formosa*: Laboratory experiment and microscopic observations. : pp. 1-7 + 5 pls.
- ・ UCHIDA Hiro'omi, TANASE Hidetomo, KUBOTA Shin. An extraordinarily large specimen of the polychaete worm *Eunice aphroditois* (Pallas) (Order Eunicea) from Shirahama, Wakayama, central Japan. : pp. 9-15 + 1 pl.
- ・ 久保田信, 堀田拓史. 稀少なクシクラゲの1種 *Lobatolampea tetragona* の小型成体および未成熟個体の形態 (Morphology of small adult and immature individuals of a rare Ctenophore, *Lobatolampea tetragona*). : pp. 17-21 + 1 pl.
- ・ 樫山嘉郎, 久保田信, 田名瀬英朋. 和歌山県白浜町で初めて発見された若いグンバイヒルガオ (ヒルガオ科) (First record of juvenile *Ipomoea pescaprae* (Convolvulaceae) from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan). : pp. 23-25 + 1 pl.

○黒潮生物研究財団機関誌「CURRENT」

Vol. 9, no. 1 [通巻 32号] (平成20年4月25日発行)

表紙: コブヒトデ	中地シュウ	1
四国のサンゴ群集 —日本のなかでの四国の位置づけ—	目崎拓真	2-3
ヒロメ、大月町でお披露目	田中幸記	4-5
水晶探しに出かけよう	S.N.	6

Vol. 9, no. 2 [通巻 33号] (平成20年8月14日発行)

表紙: チョウチョウウオ	中地シュウ	1
平成19年度大月町海洋資源保全活用事業について	中地シュウ	2-3
ツマジロナガウニの産卵	岩瀬文人	4
第11回国際サンゴ礁学会に参加して	目崎拓真・野澤洋耕	5
土佐清水市竜串でのサンゴの産卵観察会	S.N.	6

Vol. 9, no. 3 [通巻 34 号] (平成 20 年 10 月 25 日発行)

表紙：ゼブラガニ	中地シュウ	1
2008 年造礁サンゴ産卵調査報告	目崎拓真	2-3
高知県西部海域の藻場分布 その 1 ～藻場分布の現状から	田中幸記	4-5
四国で過去最大規模のサンゴの白化	S.N.	6

Vol. 9, no. 4 [通巻 35 号] (平成 21 年 2 月 7 日発行)

表紙：バイカナマコ	中地シュウ	1
土佐清水市竜串で確認されたクチベニレイシガイダマシの 高密度集団について	中地シュウ	2-3
サンゴの移植について①はじめに	岩瀬文人	4
竜串自然再生シンポジウム 知ろう、行こう、守ろう！竜串サンゴの海	岩瀬文人	5
この冬の大浜の状況について	S.N.	6

○原著（査読）論文

- Nozawa, Y., M. Tokeshi, S. Nojima. 2008. Structure and dynamics of a high-latitude scleractinian coral community in Amakusa, southwestern Japan. *Mar. Ecol. Pr. Ser.*, 358: 151-160.
- Nozawa, Y., P.L. Harrison. 2008. Temporal patterns of larval settlement and survivorship of two broadcast-spawning acroporid corals. *Mar. Biol.*, 155: 347-351.
- Nozawa, Y. 2008. Micro-crevice structure enhances coral spat survivorship. *J. Exp. Mar. Biol. Ecol.*, 367: 127-130.

○原著（その他）

- 岩瀬文人. 2008.06. 竜串自然再生における地域連携の模索. 国立公園, (664): 5-8.
- 岩瀬文人. 2008.09. 高知（四国）の造礁サンゴの特性と人工増殖の取組. 日本植物学会第 72 回大会(高知)公開講演会「黒潮が育む高知の自然と生物」要旨集, 36-41.

(2) 講演等

○学会等

- PLATHONG Sakanan, Charles BENZIES, Fumihito IWASE. 2008.07.09. Sea Fan Recovery After the Tsunami 2004 at Mu Ko Similan National Park, Andaman Sea, Thailand. 11th International Coral Reef Symposium 2008 (Florida, USA) (口演発表)
- FUKAMI Hironobu, Keiichi NOMURA, Kenji IWAO, Takeshi HAYASHIBARA, Go SUZUKI, Fumihito IWASE, Nancy KNOWLTON. 2008.07.07. Regional Specific Relationships of Species in the Genus *Favia*. 11th International Coral Reef Symposium 2008 (Florida, USA) (ポスター発表)
- MEZAKI Takuma, Fumihito IWASE, Shuu NAKACHI, Yoko NOZAWA, Tohru HAYASHI, Mai MIYAMOTO, Miho WATANABE. 2008.07.09. Reproductive Characteristics of Scleractinian Corals Form 2002 to 2007 in a High-Latitude Community at Nishidomari, Otsuki, Kochi, Japan. 11th International Coral Reef Symposium 2008 (Florida, USA) (ポスター発表)
- NOZAWA Yoko. 2008.07.10. Effects of Coral Spat Characteristics on Post-Settlement Survivorship. 11th International Coral Reef Symposium 2008 (Florida, USA) (ポスター発表)

- ・加藤栄一・田中亮・赤川泉・岩瀬文人. 2008.09.24-26. ハナハゼペア、大きい方は引っ込み思案？日本動物行動学会第 27 回大会（金沢大学）（口演発表）
- ・岩瀬文人. 2008.09.27. 高知（四国）の造礁サンゴの特性と人工増殖の取組. 日本植物学会第 72 回大会, 公開講演会「黒潮が育む高知の自然と生物」（高知大学）（講演）
- ・岩瀬文人. 2008.11.24. 四国を中心とする非サンゴ礁海域のサンゴ群集の特徴. 日本サンゴ礁学会第 11 回大会, ワークショップ：「「やまと」のサンゴ・サンゴ礁を調べる～環境変化の指標としての高緯度サンゴ」（静岡市）（講演）
- ・山内一彦・岩瀬文人・中地シュウ・井上隆彦・小林務. 2008.11.22. 竜串湾における SPSS 簡易測定法の適用に関する一考察. 日本サンゴ礁学会第 11 回大会（静岡市）（口演発表）
- ・渡邊美穂・岩瀬文人・横地洋之. 2008.11.22. 四国西南海域における造礁サンゴ幼生加入の季節変化. 日本サンゴ礁学会第 11 回大会（静岡市）（ポスター発表）
- ・長谷川亮太・相羽真祐子・渡邊美穂・岩瀬文人・横地洋之. 2008.11.22. 四国西南海域における造礁サンゴの分布と幼生加入について 2004－2008. 日本サンゴ礁学会第 11 回大会（静岡市）（ポスター発表）
- ・目崎拓真・岩瀬文人. 2008.11.22. 高知県大月町西泊地先海域における日出前後の造礁サンゴの産卵について. 日本サンゴ礁学会第 11 回大会（静岡市）（ポスター発表）
- ・原口展子・田中幸記・芹沢如比彦. 2008.11.30. The decline of *Eckronia cava* in Kochi, Japan and the challenge in marine afforestation. KUROSHIO BIODIVERSITY RESEARCH, International Symposium for Kuroshio Studies, National Sun Yat-sen University (Kaohsiung, Taiwan)（講演）
- ・田中幸記・田井野清也・原口展子・渡邊美穂・平岡雅規. 2009.03.27. 高知県で分布を広げるフタエモクの生育環境. 第 33 回日本藻類学会（琉球大学）（ポスター発表）
- ・田井野清也・田中幸記・原口展子・平岡雅規. 2009.03.27. 高知県西部・中部海域の藻場分布状況. 第 33 回日本藻類学会（琉球大学）（ポスター発表）

○依頼講演

- ・岩瀬文人. 2008.10.30. 自然公園の管理・運営における多様な主体との連携. 平成 20 年度自然公園等管理運営技術者講習会（島根県三瓶山）
- ・中地シュウ. 2008.11.22. 竜串におけるサンゴ再生に向けた取り組み. 第 17 回高知みず工学研究会.（高知大学）
- ・岩瀬文人. 2008.12.23. サンゴの国、四国ーなぜ竜串で自然再生かー. 竜串自然再生シンポジウム プレトーク（高知市）
- ・岩瀬文人. 2008.02.01. 海洋生物学の研究者が行う自然体験プログラム. 平成 20 年度青少年育成フォーラム 基調講演（高知市）
- ・岩瀬文人. 2008.03.08. 造礁サンゴの種苗生産と竜串自然再生への適用. 高知大学シンポジウム, 「サンゴの海の保全を考える：黒潮圏のフィールドから」（高知市）
- ・田中幸記. 2009.03.21. 変わりゆく藻場～高知県の海岸を例に～. 第 2 回牟岐千年サンゴの森シンポジウム（徳島県牟岐町）
- ・目崎拓真. 2009.03.21. 高緯度に住む大きなサンゴたち ～千年サンゴの気になる順位!?～. 第 2 回牟岐千年サンゴの森シンポジウム（徳島県牟岐町）

(3) 調査報告書等

- ・平成 20 年度モニタリングサイト 1000 事業における四国南西部沿岸海域のサンゴ礁モニタリン

- グ業務報告書. 2009.02. 黒潮生物研究財団（自然環境研究センター）
- ・平成 20 年度竜串自然再生事業海域調査業務報告書. 2008.03. 黒潮生物研究財団（中国四国地区環境事務所）
 - ・平成 20 自 竹ヶ島海中公園海陽 自然再生事前調査 室戸阿南海岸国定公園報告書 海部郡海陽町竹ヶ島～穴喰 成果報告書. 2008.03. 黒潮生物研究財団（ニタコンサルタント・徳島県）
 - ・平成 20 年度管理方針検討調査委託業務報告書. 2008.03. 黒潮生物研究財団（中国四国地方環境事務所）
 - ・平成 20 年度グリーンワーカー事業報告書. 2008.03. 黒潮生物研究財団（中国四国地方環境事務所）
 - ・平成 20 年度海洋資源保全活用事業委託業務報告書. 2008.02. 財団法人黒潮生物研究財団（大月町）

（４）研究所利用者の業績

○助成研究

- ・ Matsushima, K., M. Hatta, M. Kiyomoto. 2008. Molecular evidence supporting predation by emerging snails on hermatypic corals in temperate areas of Japan. *Galaxea*, 10: 43.

○研究所利用博士論文

- ・ 目崎拓真. 2008. 高緯度海域における造礁サンゴ群集の生態学的研究 (Ecological study of hermatypic coral communities at High latitude). 平成 20 年度東北大学大学院理学研究科博士論文, 144 pp.

○研究所利用修士論文

- ・ 渡邊美穂. 2009.03. 四国西南海域における造礁サンゴ幼生加入の季節変化に関する研究. 東海大学大学院海洋学研究科水産学専攻.

○研究所利用卒業論文

- ・ 加藤栄一・田中亮. 2009.03. ハナハゼ *Ptereleotris hanae* ペアの役割分担と共生種との関係. 東海大学海洋学部
- ・ 長谷川亮太・相羽真祐子. 2009.03. 四国西南海域における造礁サンゴの分布と幼生加入—2008 年. 東海大学海洋学部.

○学会等

- ・ 長谷川亮太・相羽真祐子・渡邊美穂・岩瀬文人・横地洋之. 2008.11.22. 四国西南海域における造礁サンゴの分布と幼生加入について 2004—2008. 日本サンゴ礁学会第 11 回大会（静岡市）（ポスター発表）
- ・ 石原孝・亀崎直樹・松沢慶将・山下傑. 2008.11. アカウミガメにおける日本への再回遊年齢と成熟年齢. 第 19 回日本ウミガメ会議（明石市）（口演発表）
- ・ 石原孝・亀崎直樹・松沢慶将・山下傑. 2008.10. 日本近海に生息するアカウミガメの年齢構成と成熟年齢. 第 47 回爬虫両生類学会（宇都宮市）（口演発表）
- ・ ISHIHARA, Takashi., Naoki KAMEZAKI. 2009.02. Some aged females lack nesting experience. 29th International SeaTurtle Symposium (Brisbane, Australia)（口演発表）
- ・ Keshavmurthy Shashank, Fukami Kimio, Mukaimoto Kosuke. 2008.11.22. Characterization of bacteria from the mucus and tissue of corals in a high-latitude coral community. 日本サンゴ礁学会第

11回大会（静岡市）（ポスター発表）

- ・渡邊美穂・岩瀬文人・横地洋之. 2008.11.22. 四国西南海域における造礁サンゴ幼生加入の季節変化. 日本サンゴ礁学会第11回大会（静岡市）（ポスター発表）
- ・山下洋・小池一彦・大塚攻. 2008.11.22. 環境中に出現する褐虫藻の系統解析. 日本サンゴ礁学会第11回大会（静岡市）（ポスター発表）